

ベナン月報(2017年10月)

主な出来事

【内政】

- 27日, タロン大統領は, 内閣改造を行った。9名が新たに大臣のポストに就任した。

【外政】

- 10日, タロン大統領は, パリ訪問後, カボレ(M. Roch Marc Christian KABORE)ブルキナファソ大統領を訪問した。
- 11日, タロン大統領は, ブルキナファソを訪問後, ナナ・アクフォアド(Nana Addo Dankwa AKUFO-ADDO)ガーナ大統領を訪問した。その後, トーゴのファールニヤシンベ(M. Faure Essozimna GNASSINGBE)大統領を往訪した

【経済】

- 5日, マティス(Mme. Adidjatou MATHYS)労働・公職・社会問題大臣は, 国家雇用委員会(Anpe)による2017年雇用促進プログラム(Paes)の立ち上げ式を行った。同プログラムによって, ベナン国内の様々な分野で1, 000人の若者が研修を行うことになる。
- 西アフリカ中央銀行(BCEAO)は, ベナンでの2016年の携帯電話による金融商取引(ベナンはMTN, MOOVの2社)は, 3, 840万件, 9, 195億FCFAにのぼり, 2015年の1, 470万件, 2, 054億FCFAから大きく増加していると発表した。

※下記内容は, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L'Événement Précis 紙, L'économiste 紙, La Nouvelle Tribune 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 7日, 臨時公務員採用試験が行われ, 189の採用枠に2, 048人が応募した。ポルトノボ, コトヌ, アボメ, ロコサ, パラク, ナチチングに配置される予定で, 123が文化事業, 66が公共市場管理のポストである。「政府行動計画(PAG)」では若者の雇用促進, 失業率改善を挙げている。(9日, L'économiste 紙)
- ・ 13日, 閣議において, タロン大統領の訪仏において, マクロン大統領と会談が出来なかった理由でアラバ(M. Hermanne ARABA)外務・協力省事務次官が更迭された。(17日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 17日, 第25回世界貧困削減デーの講演会が行われ, UNDP ベナン代表や各大臣が参加した。マティス(Mme. Adidjatou MATHYS)労働・公職・社会問題大臣は, ベナンの貧困率について, 2007年は33. 3%, 2011年は36. 2%, 2015年は40. 1%と改善には至っていないと述べた。水, 保健, 基本的社会サービスへのアクセスについて国民が平等に享受できていない点が大きい旨述べた。(18日, Le Matinal 紙)
- ・ 27日, タロン大統領は, 内閣改造を行った。9名が新たに大臣のポストに就任した。(30日, La Nation 紙)
- ・ 30日, ズマル(M. Allassane ZOUMAROU)ジユグ(Djougou)市長は, ジユグ市議会にて賛

成28票, 反対1票で, 市長職から罷免されることが決定した。(31日, La Nouvelle Tribune 紙)

【外政】

- ・ 9月29~30日, ルワンダのルバブにおいて, 第一回ベナン・ルワンダ二国間協力合同委員会が開催された。アベノンシ(M. Aurelien AGBENONCI)外務・協力大臣と, ムシキワボ(Mme. Louise MUSHIKIWO)ルワンダ外務大臣は, 情報通信技術(TIC)と住民台帳や生活環境・持続的発展について二国間協力協定(Accord)を結んだ。(9日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 10日, タロン大統領は, パリ訪問後, カボレ(M. Roch Marc Christian KABORE)ブルキナファソ大統領を訪問した。二国間の国境での訴訟問題や, W 国立公園・ペンジャリ国立公園の保護や治安強化, ECOWAS 圏の道路, 鉄道, エネルギー計画及び北朝鮮の核問題等について議論し, 協力していく旨話し合われた。(11日, La Nation 紙)
- ・ 11日, タロン大統領は, ブルキナファソ訪問後, ナナ・アクフォアド(Nana Addo Dankwa AKUFO-ADDO)ガーナ大統領を訪問した。コトヌで開催される二国間協力委員会を通じての関係強化や, 共通域内のインフラ等について意見交換を行った。その後, トーゴのフォーールニヤシンベ(M. Faure Essozimna GNASSINGBE)大統領を往訪し, テロ対策等について話し合った。(13日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 12日, アベノンシ外務・協力大臣と小西駐ベナン日本国大使は, 2017年度対ベナン食料援助の交換公文の署名を行った。6, 000トン超の米が供与されることになる。(20日, L' Evénement Précis 紙)

【治安】

- ・ 8日, ゴグヌ(Gogounou)市でプル族とバリバ族の間で衝突があり複数の怪我人が出た。また, 倉庫3つ, 瓶13個, 扉12戸が破壊され, 家畜等も強奪された。(10日, Le Matinal 紙)
- ・ 12日, コトヌ市フィファジ(Fifadji)地区警察署は, 国家警察特別介入部隊(Raid)と連携し, 自動車強盗の疑いで4人を逮捕した。(13日, Le Matinal 紙)
- ・ 23日朝, アボメカラビでウエド地区警察により, 家宅捜索が行われ, 4人の泥棒を逮捕した。バイク3台, 電化製品などの盗品が見つかった。(25日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 30日, コトヌにて, 象牙密輸容疑者2名が逮捕された。(11月2日, Le Matin Libre 紙)

【経済】

- ・ 5日, マティス(Mme. Adidjatou MATHYS)労働・公職・社会問題大臣は, 国家雇用委員会(Anpe)による2017年雇用促進プログラム(Paes)の立ち上げ式を行った。同プログラムによって, ベナン国内の様々な分野で1, 000人の若者が研修を行うことになる。ベナンの抱える失業問題を一時的に解決するものであるとしている。ベナンでは毎年, 高等教育機関から2万人以上のディプロム保有者を輩出しているものの, 労働市場で必要とされる能力や経験が十分でなく, 若者の失業問題に影響を与えているとした。同プログラムは

- 半年間の研修で1回更新可能とのことである。(6日, La Nation 紙)
- 6日, 国民議会で総額2,120億 FCFA の借款が批准された。コリーヌ県グラスエ・ダッサズメの給水案件で中国から約500億 FCFA, 電力関係で360億 FCFA, アボメカラビのウエド(Houedo)地区には, 公共住宅建設として西アフリカ開発銀行から214.6億 FCFA, プラト県の総距離139.9kmの道路整備に996.4億 FCFA がそれぞれ充てられる。(9日, Le Matinal 紙)
 - 2日, アタナソ(Mme. Marie Odile ATTANASSO)高等教育・科学研究大臣は, 西アフリカ経済通貨連合(UEMOA)圏に合わせ, 本年度より学生に高等教育への登録料支払いが必要になると発表した。学士25,000FCFA, 修士50,000FCFA, 博士75,000FCFA がそれぞれ必要となる。(10日, La Nouvelle Tribune 紙)
 - 6日, 国際非営利組織「Mercy Ships」はクロディーヌ・タロン財団にて, 2016年8月18日にベナンに接岸して以後10か月間の活動内容の最終報告を行った。1,957件の外科治療を行い, 8,632人に対し, 15,109件の歯科治療がなされた。(10日, La Nouvelle Tribune 紙)
 - 10日, ウィダ市のズングド小学校において, 日本の援助による校舎建設の署名式が行われた。供与額は約5,100FCFA である。(13日, L'Événement Précis 紙)
 - コトヌ市アグラ(Agla)交差点に, ベナン初となる時間表示式三色信号が導入された。(13日, Le Matinal)
 - 11日, la Radio Soleil FM において, ベナン稲作協議委員会(CCRB)は, ベナンには20.5万 ha の平地及び10.7万 ha の洪水になりやすい平地を含む計32.2万 ha の稲作可能地域があるが, 現在実際に稲作をしている面積は26%にとどまっていると発表した。生産量は25.1万トンで, 国内重要の約半分に該当する。(20日, L'économiste 紙)
 - 19日, ベナン家庭への蚊帳無料配布計画(Mild)の立ち上げ式がアブランク(Avrangkou)市で行われ, セイドゥ(M. Alasane SEIDOU)保健大臣が出席した。WHOらの協力で今回までに計6,695,750の蚊帳がベナンへ供与されることになる。ベナンでの入院患者の52.3%, また, 保健分野での死亡者の14.9%はマラリアによるものである。(20, Le Matinal 紙)
 - 24日, アメリカ合衆国国際開発庁(USaid)は, エボラ等出血熱対策として, 赤外線型体温計300本や感染防護服110着等, 関連備品約1.24億 FCFA 分をベナン保健省へ供与した。2013~14年にかけて, ギニア, シエラリオネ及びリベリアでエボラ出血熱により1.1万人以上の犠牲者が出た。(25日, La Nouvelle Tribune 紙)
 - 西アフリカ中央銀行(BCEAO)はベナンでの, 2016年の携帯電話による金融商取引(ベナンはMTN, MOOVの2社)は, 3,840万件, 9,195億 FCFAにのぼり, 2015年の1,470万件, 2,054億 FCFA から大きく増加していると発表した。(27日, L'économiste 紙)
 - 27日, ベナン国内での偽薬流通・売買対策計画 Pangea9 により, 104トンの偽薬が処分

されることになった。(30日, Le Matinal 紙)

【文化】

- ・ 21日, 卓球の中国・ベナン親善試合「チャンピオンのラケット(La Raquette des champions)」が中国文化センターで開催された。2014年より毎年7・8月に中国の杭州へ研修生が送られており, 今年は選手6人とコーチ4人の計10人が中国へ行った。(23日, La Nation 紙)
- ・ 23日より国際体操連盟の理事メンバーがコトヌに滞在し, 24日には, 理事会の開会セレモニーが行われた。同理事会は3日間行われる。(25日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 25日, 駐ベナン日本国大使公邸に, ホメキ・スポーツ大臣, 渡辺国際体操連盟会長及び理事メンバーらが招待されレセプションが行われた。(27日, L'Événement Précis 紙)